

科目名 Course Title	大学院共通授業科目(一般科目):複合領域		
講義題目 Subtitle	グローバル実践科目 I		
責任教員 Instructor	ホイットフィールド デールリー [WHITFIELD Dale Lee] (高等教育推進機構)		
担当教員 Other Instructors	ロマーエヴァ マリーナ [LOMAEVA Marina] (高等教育推進機構)		
科目種別 Course Type	大学院共通授業科目	他学部履修等の可否 Open To Other Faculties / Schools	可
開講年度 Year	2025	期間 Semester	1 学期(春ターム)
授業形態 Type of Class	演習	単位数 Number of Credits	2
対象学科・クラス Eligible Department / Class	-	対象年次 Year of Eligible Students	-
時間割番号 Course Number	101230(火曜クラス) 101231(木曜クラス)	補足事項 Other Information	-
ナンバリングコード Numbering Code	IGS_IDS 9211		
大分類コード・名称 Major Category Code / Title	IGS_IDS・大学院共通授業科目(複合領域)		
レベルコード・レベル Level Code / Level	9・その他(海外への留学を内容とするものなど, レベル分けが出来ない科目)		
中分類コード・名称 Middle Category Code / Title	2・キャリアマネジメント		
小分類コード・名称 Small Category Code / Title	1・キャリア開発		
言語 Language Type	英語で行う授業		
実務経験のある教員等による授業科目 Course list by the instructor with practical experiences	-		
キーワード Key Words	<p>「3+1の力」(能力更新力, 組織形成力, 社会還元力および専門職倫理), リーダーシップ, コミュニケーション, チームビルディング, ファシリテーション, クリエイティブシンキング, クリティカルシンキング, プレゼンテーション, プロフェッショナルリズム</p>		
授業の目標 Course Objectives	<p>この科目では, 新渡戸カレッジの「3+1 の力」(能力更新力, 組織形成力, 社会還元力および専門職倫理)を身に付けることにより, グローバル化する世界で成功するために必要不可欠なリーダーシップ, チームワーク, コミュニケーションスキルを身につけることを目標としている。本科目では創造的かつ批判的な思考を実践し, 目標を設定し, 計画を立て, 課題に適応する力を養い(能力更新力)。チームを形成し, 議論し, 共通の目標を達成するために協働し(組織形成力), 異文化コミュニケーションや課題解決に取り組むことで, 知識を共有し, 社会に還元する解決策を学ぶ(社会還元力)。さらに, 異なる文化や視点を尊重しながら, 公平かつ公正な決断を下す能力を学ぶ(専門職倫理)。</p> <p>本科目は, すべての修士課程および専門職学位課程の学生を受講対象とし, 新渡戸カレッジオナーズプログラム大学院カリキュラム入校のためのプレプログラム科目として開講する。本科目と「グローバル実践科目 II」の履修・修得は, 新渡戸カレッジオナーズプログラム大学院カリキュラムへの入校要件の一つとなっている(本科目の履修は, 新渡戸カレッジへの入校申込みを義務付けるものではありません)。</p>		
到達目標 Course Goals	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新渡戸カレッジの教育理念と学修目標を理解する。</li> <li>・コミュニケーションスキル, クリエイティブシンキング, クリティカルシンキング, プレゼンテーションなど個の能力を向上させる。</li> <li>・リーダーシップ, チームビルディング, ファシリテーションなど協働の成果創出に欠かせない能力を身につける。</li> <li>・異なる専門性を持つ学生との協働を通じて, 自らの専門性を相対化することで, その重要性への理解を深めるとともに, 他の専門性の価値を認識する。</li> <li>・現在, また将来において, 専門家として求められる倫理観を養い, 自らの考え, 行動が持つ社会への影響と社会への貢献に対する意識を高める。</li> </ul>		

## 授業計画 Course Schedule

本科目では、以下のモジュールを相互に関連付けて、授業を構成する。

### 【モジュール1】コース・オリエンテーション／自己発見

・オリエンテーション:新渡戸カレッジの学習理念(特にチーム学習の重要性について)、本科目の目標・目的、授業の実施方法とルールや規則、授業日程、「新渡戸ポートフォリオ(NPF)」の意義と使い方、などを説明する。  
・自己発見:チームディスカッションを通じて、現時点での自らの能力を知り、自らの学修目標を明確化する。自分自身と自分の専門領域、研究関心など、自ら他者に伝えたいことを盛り込んだ「セルフプレゼンテーション・ポスター」を事前に作成・提出する(詳細は別途指示がある)。

### 【モジュール2】クリエイティブシンキング(創造的思考法)

クリエイティブシンキングは、既存に捕らわれない思考を意味し、そのためには新しい発見とすでに身につけている知識を客観的に問い直すことへの好奇心、勇気、冒険心が求められる。学生は、この思考法の重要性と応用力を理解し、実践的な課題に取り組む中で、クリエイティブシンキングの能力を身につける。

### 【モジュール3】クリティカルシンキング(批判的思考法)

クリティカルシンキングとは、実証主義に基づいて収集したデータを適切な方法で分析・評価し、最適解に至るために必要な思考法である。この方法は、問題を特定し、解決へ導くために不可欠だけでなく、物事を常に批判的に捉えるために必要となる自身の論理構成や思考の内容についての内省を可能にする。ガイダンス講義と実践的な課題への取り組みを通じて、批判的思考法を身につけるとともに、その重要性を理解する。

### 【モジュール4】リーダーシップ

リーダーシップとは、リーダーとされる個人の資質のみを意味するものではない。本科目では、協働するチームのメンバー全員がさまざまな貢献を通じて醸成される「関係性」に重きを置き、ガイダンス講義と与えられた課題への個々・チームでの取り組みを通して、リーダーとリーダーシップの違いと関連性について熟知するとともに、「関係性」としてのリーダーシップに貢献するために何が必要か考え、そのための能力を身につける。

### 【モジュール5】チームビルディングとファシリテーション

ガイダンス講義と課題への取り組みを通じて、効果的かつ生産的な協働に必要なチームビルディングとファシリテーションに関する知識とスキルを学ぶ。

### 【モジュール6】プレゼンテーション

ガイダンス講義と課題への取り組みを通じて、コンテキストに応じて内容を組み立て、異なる専門性や関心を持った聞き手にも伝わり、共感を得るプレゼンテーションができる能力を身につける。

### 【モジュール7】省察と学修計画

タームを通じた学修成果についてチームでのディスカッション、プレゼンテーションによる意見交換と省察を行い、今後の学修の道筋を立てる。

### 【モジュール8】専門職倫理

講義とディスカッションを通じて、専門家、専門家意識、専門職倫理について学ぶ。北海道大学内外の研究者や、その他さまざまな分野で活躍する専門家をゲスト講師として招き、講義とともに、ディスカッションのための課題を提供していただく予定である。ゲスト講師の指示に従って、事前に関連する題材を基にした E-learning やリーディングを課すこともある(詳細は別途指示がある)。

2025年度の授業スケジュールは以下の通りである。

(火曜クラス)

2025/4/15～6/17の毎週火曜、5限6限

最終回は、グローバル実践科目Ⅱの第1回を兼ねています。

(木曜クラス)

2025/4/17～6/19の毎週木曜、5限6限

最終回は、グローバル実践科目Ⅱの第1回を兼ねています。

## 準備学習(予習・復習)等の内容と分量 Homework

毎授業後、新渡戸ポートフォリオ(NPF)を通じて学習の成果、授業内容についてのコメントおよび自己評価の提出が求められる。

## 成績評価の基準と方法 Grading System

授業への積極的参加とチーム学習への貢献, 提出が求められる課題 (セルフプレゼンテーション・ポスター), 学修記録と自己分析, 授業内容へのコメント, 「3+1 の力」の自己評価, ターム終了後に学修成果を自ら認識し, 将来の学修目標の見直し・再設定するために提出が求められる final Self-evaluation Report が評価対象となる。その他, 必要に応じて評価に関わる課題が追加された場合は, 随時説明がある。

## テキスト・教科書 Textbooks

必要に応じて指示する。

Supplementary materials are instructed or provided when necessary.

## 講義指定図書 Reading List

必要に応じて指示する。

Supplementary materials are instructed or provided when necessary.

## 参照ホームページ Websites

<https://nitobe-college.academic.hokudai.ac.jp/>, <https://nitobe-college.academic.hokudai.ac.jp/en/>

## 研究室のホームページ Websites of Laboratory

特記事項なし

## 備考 Additional Information

この科目を履修予定の学生は, 以下の申請フォームを提出すること(締切:4月9日(水)9:00):

<https://forms.gle/Xmj7NwPc6DAaVnwy5>

履修の可否については, 4月10日(木)に, メールで通知する。

プレプログラムガイダンス

日本語:4月4日(金)17:00 – 18:00

英語:4月7日(月)17:00 – 18:00

場所:北海道大学フロンティア応用科学研究棟2階セミナー室

履修登録に関する情報や関連資料は, 以下の web サイトを参照すること:

[https://nitobe-college.academic.hokudai.ac.jp/en/preprogram\\_enrollment](https://nitobe-college.academic.hokudai.ac.jp/en/preprogram_enrollment)

本科目に関する問い合わせ先: [nitobecollegegraduates@high.hokudai.ac.jp](mailto:nitobecollegegraduates@high.hokudai.ac.jp)